

# 国際民主主義を訴える

## 細谷慶応大准教授が講演

古川

第11回読売・吉野作造賞受賞者講演会がこのほど、大崎市古川の吉野作造記念館で開かれた。同賞を受賞した慶応義塾法学部の細谷雄一准教授が「国際的正義を求めて―吉野作造からトニー・ブレアへ」と題し講演、吉野や元英国首相ブレアが訴えた国際民主主義の必要性について考察した。

細谷氏ははじめに、現代は宗教や民族の対立に由来する紛争や虐殺が発生し、国際社会の人道的な問題に対し、民主主義国家が国家主権を超えて介入していかねばならない現実があることを指摘。

その上で、吉野が考えた国際民主主義と

は、従来の自国の利益を守るためだけの弱肉強食な国際関係ではなく、国同士が常に自由平等の関係の上に成り立つものであることを説明。

「ブレアのコソボへの軍事介入はまさに吉野の国際民主主義を基礎とした行動であり、2人には共通の政治理



読売・吉野作造賞を受賞し記念講演する細谷准教授

……念がある」と語り、「グローバル化が進んだ今こそ、吉野やブレアが訴えた国際民主主義が求められている」と訴えた。